

【事業2】史実の顕彰による観光連携の強化

- ・歴史を活かした観光交流の推進を行う
- ・新たな観光施設を整備する

【事業の取組状況】

（行政）◆「観光カード」を配布◆

鶴崎踊をはじめとする本市の観光資源の魅力に訪来者が気軽に触れていただくことを目的として「観光カード」を作成し、大分市観光案内所等で配布している。

（地域）◆「海舟・龍馬思索の道」街道の整備、PRを実施◆

「海舟・龍馬思索の道」の3地区（佐賀関・鶴崎・野津原）連携協議会の取組として、令和3年度は「思索の道」の街道案内看板を佐賀関―鶴崎間に20本設置し、佐賀関―鶴崎―野津原間の街道のPR用DVDを制作した。

【会議で出された意見等】

他県などいろんなところから来ていただいて、鶴崎にゆかりの深い吉岡妙林尼、加藤清正公が、歴史上大きな役割を果たしたということ、鶴崎の街をガイドしながら案内していきたい。



【事業3】地域イベントの拡大事業

- ・外部から新たに地域イベントをプロデュースできる方を招いて地域イベントを活性化させる



【会議で出された意見等】

◆コロナ禍の地域を盛り上げるため、新たなイベントを開催◆

11月に鶴崎公園グラウンドにて「鶴崎元氣祭～食と文化と笑顔の祭典～」を開催した。「食」に関しては大分の有名店と鶴崎の店舗などで来客を呼び込んだ。「文化」に関しては鶴崎にゆかりのある加藤清正公、吉岡妙林尼にちなんで、小学生低学年を対象に清正くんと妙林ちゃんに变身するという企画を実施するとともに鶴崎の歴史を勉強した。「笑顔」に関してはステージイベントとして、大分鶴崎高校吹奏楽部の演奏、消防団と吉野臥龍梅太鼓の皆さんで纏いの披露、子どもたちのダンス、鶴崎おどり保存会による鶴崎踊の披露を行った。最後は鶴崎小学校150周年記念の花火の打ち上げを行った。今回初めて企画を立ち上げたが、清正公二十三夜祭歩行者天国が3年連続中止ということもあり、コロナ禍の地域を盛り上げるため何かイベントをしたいという思いから始まった。今回の祭りでは、各団体とタッグを組んで団体の垣根を越えたイベントを一緒に開催することができたと思う。

【提言2：豊かな川の恵みをつめなおす】

【事業6】川を活かした街づくり事業

- ・豊かな川がもたらす水の恩恵を子どもたちの郷土愛を育む教育へと生かす
- ・大野川沿いの幹線道路を整備する
- ・川がもたらす資源を守り、育んで有効活用する

【事業の取組状況】

（地域）◆大野川河川敷の環境美化活動を実施◆

自然共生の会は、数年前から大野川河川敷の高木や雑草を伐採し、四季彩の花を育てる、自然と住民のふれあい事業を実施している。2年前から春と秋には花文字が作られ堤防を歩く人の目を楽しませている。

【会議で出された意見等】

台風などによって大野川河川敷に堆積したごみの清掃活動をしていく中で、ここを綺麗にして皆さんの癒しの場にしていこうということで（上記取組みを）始めた。当初は人員もそろっていたが、だんだん減ってきたけれども継続していかなければならない。計画を立てるときにボランティアについてしっかり考えておくことが大切である。



【提言3：鶴崎駅や鶴崎市民行政センター周辺を核とした街のにぎわいづくり】

【事業9】鶴崎市民行政センター周辺の整備

- ・防災機能を持った総合コミュニティセンターとして、鶴崎公民館を整備する
- ・公民館の機能充実、利用者の利便性の確保を図るための鶴崎公園の整備

【事業の取組状況】

（行政）◆鶴崎公民館の新しい集会室棟が完成間近◆

2年度から鶴崎公民館の改修工事を行い、3階にエスplanサ・コシジオの機能が入っている。現在は新しい集会室棟の建設工事を行っており、4年度末に完成予定。5年度は既存の集会室の改修工事を行い、老人いこいの家が入る予定である。



【提言4：将来住みたくなる街づくりに向けた取組を推進】

【事業10】地域全体の防災力の強化

- ・地域のインフラを強化して防災面を強化する
- ・地域住民の防災意識を向上させる

【事業の取組状況】

（地域）明治防災士協議会は、「避難所での簡単な食材でできる緊急食づくり」をテーマに研修会を開催した。

【会議で出された意見等】◆「防災学習車」の活用を呼びかけ◆

大分市消防団では、防災訓練用資機材を搭載した「防災学習車」を活用した取組みを開始した。煙を組み立て式テントに充填させ、火災時にどのように避難するかを体験する訓練などができるので、是非とも体験していただきたい。希望する自治会などは消防団員にお声掛けいただきたい。



【事業14】将来住みたくなる街づくり

- ・道路や公共交通の機能を充実させ、生活の利便性を向上させる
- ・子どもや高齢者福祉を充実する
- ・地域の歴史を活かした街づくりを行う
- ・企業の誘致や地域の大企業との連携を行う
- ・鶴崎駅前を活性化させる
- ・地域の少子高齢化への対策を行う

【事業の取組状況】

（地域）交通安全意識の高揚と事故のない明るい街づくりを目指し、別保校区では交通安全推進大会を例年開催しており、小中学生を対象にポスター・標語・作文を募集、優秀な作品を表彰し、同時に交通ルールや自転車の乗り方について学ぶ社会ルール学習会を開催している。

【会議で出された意見等】◆高校生中心の地域活性化の活動への協力者を募集◆

- ・鶴崎の地域おこしグループ「ツルリバ」（メンバー7名）は、高校生の成長や鶴崎商店街の活性化に貢献するため、メンバーによる金銭等負担のもと、活動を行なっている。
- ・現在、鶴崎商店街の空き家を活用した高校生用のフリースペースを運営（毎週土曜オープン）
- ・そのほか、「防災マップの作成・配布」、「子どもルームでの絵本読み聞かせ」、「鶴崎商店街の掃除」など、様々な活動を高校生とともに実施
- ・本活動の継続・発展のため、グループへの加入者・協力者を募集中！ 連絡先はこちら→

